

# 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター

令和 3 年度 事業報告書

令和 4 年 3 月

# R3 年度 NITS 信州大学センター 事業報告書

## 目次

1.はじめに.....	1
2.令和3年度の事業実績.....	2
3-1.次代を担う中核教員養成研修.....	5
3-2.子どもとつくる総合的な学習の時間～協働的同伴者としての教師のアプローチ～.....	7
3-3.学校づくり・学級づくり～チーム学校と新たな学級経営～.....	8
3-4.へき地・小規模校の教育実践～個別最適化を実現する授業づくり～.....	9
3-5.小学校外国語指導者養成研修.....	11
3-6.マイスター教員研修.....	12
3-7.長野県義務教育校長悉皆研修における「リーダーシップ論」の特別講座.....	13
3-8.子どもたちが通いたくなる学校とは.....	14
3-9.教室の中での異文化理解～違いを認め尊重しあう社会を目指して.....	17
3-10.コミュニティ・スクール地域コーディネーター養成講座.....	19
3-11.公開セミナー「自由学校の設計-30年間の実践から見えてきたこと」.....	21
3-12.学校フィールドワーク実地研修.....	23
3-13.令和3年度信州大学センター公開フォーラム～南信州の教員研修の活性化を考えるフォーラム～.....	24
4.おわりに.....	26

### 1. はじめに

令和2年度に開設された独立行政法人教職員支援機構・信州大学センターは、信州大学大学院教育学研究科・高度教職実践専攻（教職大学院）が教職員支援機本部（NITS）から3年間の委嘱を受けて、現職教員向けの研修事業を企画・運営している。

今年度は、信州大学センターが独自に企画・運営した研修事業が7本、長野県教育委員会事務局・学びの改革支援課との共催事業が2本、長野県総合教育センターとの連携講座および共催事業が4本の計13本の研修事業を実施した。以下、それぞれの研修事業の実施状況を簡潔に報告する。

なお、この他に学校現場での授業づくりに取り組む研修事業も企画して準備していたが、新型コロナウイルス感染防止対策を優先して中止した。

## 2. 令和3年度の事業実績

### (1) 事業計画および実施状況

No	研修(セミナー)名	内容	実施方法	日程	対象者	参加人数	備考
1	次代を担う中核教員養成研修 (学びの改革支援課と信州大学センターの共催事業)	・ミドルリーダーシップに関する講演 ・希望研修(カリキュラム・マネジメント等) ・県外校に学研修 ・夏季研修 ・学校づくり実践研修等	併用	年間通して実施	各郡市(15地区)から2名ずつの推薦を受け、県教育委員会・学びの改革支援課で決定した30名	30人	
2	子どもとつくる総合的な学習の時間～協働的同伴者としての教師のアプローチ～ (長野県総合教育センターと信州大学センターの連携講座)	・講義1「信州『総合』の理念と実践」 ・実践発表「総合的な学習の時間を軸とした学校づくり」 ・講義2・演習「協働的同伴者としての教師のアプローチ」	集合	令和3年6月7日(月)	長野県内の充実期及び次世代育成期の教職員	県内教職員:25名/教職大学院生:4名	
3	学校づくり・学級づくり～チーム学校と新たな学級経営～ (長野県総合教育センターと信州大学センターの連携講座)	・講義「特別に支援が必要な子どもをつつむ学級経営」 ・講義・演習「チーム学級経営と同僚性・協働体制づくり」 ・講演会「記者から見たこれからの学校づくりー私たちは何でもできるー」	集合	(1)令和3年8月2日(月) (2)令和3年11月27日(土)	長野県内の充実期及び次世代育成期の教職員	(1)県内教職員:42名/教職大学院生:30名 (2)県内教職員:12名/教職大学院生:30名	
4	へき地・小規模校の教育実践～個別最適化を実現する授業づくり～ (長野県総合教育センターと信州大学センターの連携講座)	・講義「個別最適な学びをどう考えるか」 ・実践発表「自律的な学びを追究する教育実践」 ・講義・演習「自由進度学習の授業づくり」	オンライン	令和3年8月19日(木)	長野県内の充実期及び次世代育成期の教職員	県内教職員:13名/教職大学院生:22名	
5	小学校外国語指導者養成研修	・Crown Jr. (三省堂)とHere We Go! (光村図書)のデジタル教材を用いた指導法に関する演習	集合	2021年11月27日(土)	長野県内の外国語科を担当する小学校教諭及び専科教員。定員20名程度。	12名	第2回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止
6	マイスター教員研修 (学びの改革支援課と信州大学センターの共催事業)	・「教職人生リフレクション」 ・「県内教育実践者による講演」 ・「リ・クリエイション(再創造)」	併用	令和3年8月6日(金)	対象は、次世代育成期相当の教員(※1)を中心に、再任用や充実期相当の教員(※2)等	60人	

					※1 次世代育成期相当教員:経験 20 年程度以上の教員 ※2 充実期相当教員:経験 10 年~20 年程度の教員		
7	長野県義務教育校長悉皆研修における「リーダーシップ論」の特別講座 (長野県総合教育センターと信州大学センターの共催事業)	・国際的な視野でみる学校管理職 ・教育改革の最新事情 ・長野県教育委員会の改革ビジョン ・学校長に期待すること	オンライン	令和 3 年 10 月 7 日 (木) = 中東信地区 / 10 月 8 日 (金) = 北南信地区	長野県内の公立小学校および中学校の校長を対象とする悉皆研修(中核都市である長野市を除く)	1 日目は 255 名 / 2 日目は 267 名 参加	
8	子どもたちが通いたくなる学校とは	下記のテーマで講演・対談・演習。・「学校での生きづらさを感じる子どもたちの実態」・「不登校を経験した子どもからみた学校」・「すべての子どもに豊かな子ども期を」・「学校内外の子ども・若者の居場所」・「子ども・親・教職員がそれぞれの多様性を認める学校」・「学校の先生には見えにくい子どもたち」	オンライン	2021 年 8 月 27 日 (金) から 2022 年 2 月 4 日 (金) まで計 7 回	小・中学校、高等学校および特別支援学校の教職員、教育委員会関係者、教職大学院学生。定員 30 名。 ※定員に余裕がある場合は一般参加者の受講も可能	①42 名 ②36 名 ③36 名 ④28 名 ⑤25 名 ⑥25 名 ⑦25 名	
9	教室の中での異文化理解 ~違いを認め尊重しあう社会を目指して	・第 1 部:外国籍児童教育の視点から~講義&演習~ ・第 2 部:英語教育の視点から~講義&演習~	オンライン	2021 年 8 月 10 日 (火)	小・中学校、高等学校および特別支援学校の教職員、教育委員会関係者(定員 30 名)	12 名	
10	コミュニティ・スクール地域コーディネーター養成講座 (長野県教育委員会の後援事業)	・美麻小中学校およびコミュニティスクール(CS)についての講義 ・総合的な学習の時間の参観 ・学校運営協議会の傍聴 ・CS コーディネーター養成のための講義・ワークショップ	集合	2021 年 12 月 10 日(金) ~11 日(土)	小中高校および特別支援学校の教職員、教育委員会の指導主事、地域コーディネーターの役割を担う行政の担当者、地域おこし協力隊員、一般の方<定員 30 名>	36 名	
11	公開セミナー「自由学校の設計-30 年間の実践から見えてきたこと」	・特別講演「子どもの村学園の教育」 ・ディスカッション	オンライン	2021 年 11 月 13 日(土)	信州大学教職大学院の学生や修了生、教育関係者、一般の方(先着 200 名様)	187 名	
12	学校フィールドワーク実地研修	・①南アルプス子どもの村学園	集合	① 2021/12/15 (水)~	信州大学教職大学院の学生や修了生(教員)	各回定員は学校側のコロナ対応の事	第 2 回は新型コロナウイルス感染

				16(木)		情による	拡大のため中止
13	令和3年度信州大学センター公開フォーラム～南信州の教員研修の活性化を考えるフォーラム～ (長野県教育委員会・飯田市教育委員会の後援事業)	令和2年度に続けて共同開催する教員研修を考える公開フォーラム。	オンライン	2022年3月13(日)	信州大学教職大学院の学生および修了生、教育委員会関係者、一般の方	56名	

\*信州大学センターホームページを開設し、運用を始めました。



独立行政法人教職員支援機構  
信州大学センター

センター概要    新着情報    研修一覧



学び続ける教職員を応援します

### NITS 信州大学センターについて

独立行政法人教職員支援機構（NITS）と信州大学大学院教育学研究科は、2016年4月18日に連携協定を締結し、その協力関係を基盤として2020年度には、教職員支援機構・信州大学センターが開設されました。

主な役割・機能として

- 信州大学教職大学院の教育力と特色を活かした研修講座の実施
- 教育委員会をはじめ他の研修機関との連携による地域貢献型の研修の実施
- 中央研修センターの研修動画を活用した地域センター講座の開発

を担っています。長野県教育委員会および長野県総合教育センターとの協働、海外連携協定大学との連携などのネットワークを活かして、教職員の資質向上に寄与してまいります。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/nits-center/>)



6月14日(月)「カリキュラム・マネジメント応用」

7月8日(木)「学校組織マネジメント応用Ⅰ」

8月2日(月)「学級づくりと学校づくり」

### (3) 県外視察

7月1日(木)～2日(金)

・北陸, 関西方面の先進校への視察

→※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、7月2日(金)に長野県総合教育センターに参集し、代替研修「県外校に学ぶ研修」を実施しました。

### (4) 夏季研修(@総合教育センター)

7月30日(金)

・一流講師による講義②「学校づくりとカリキュラム・マネジメント」(横浜国立大学名誉教授 高木展郎)

・それぞれの1学期の取り組みの情報共有と今後に向けてのディスカッション

### (5) 学校づくり実践研修

#### ①自校の課題の解決策に取り組む

自校の課題、自身のキャリアステージに応じた学校マネジメントの取組の計画・実践。また、中核教員サポート指導主事や教職員支援機構特別研修員の助言を受けながら、ファシリテーターとして所属校や、所属地区の各学校における校内マネジメント研修を実施。

#### ②グループミーティング(5月～1月、オンライン)

月1回を目途に、Web会議システムにてグループ毎のミーティングを開催し、事例相談会を行う。各校の課題に取り組む過程で、相談や経過報告を行う。各グループには、中核教員サポート指導主事もアドバイザーとして参加。

#### ③中間報告会(オンライン)

9月14日(火)

②とは異なるグループを設定し、課題に対して、どのように取り組み、今後さらにどんな取り組みが考えられるのか報告し合い、意見交換を行った。

### (6) 「学びの改革フォーラムながの」での発表

1月28日(金)

・1年間の研修成果・取組を発表し合う機会として位置づけた。同時にシンポジウムも開催した。

### (7) 各都市での報告会

各都市の校長会または教頭会等において、学んだ内容について発表する機会をいただいた。

### ◆実施主体

#### 【共催】

長野県教育委員会学びの改革支援課

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター

### 3-2. 子どもとつくる総合的な学習の時間 ～協働的同伴者としての教師のアプローチ～

#### ◆ 概要

本研修のねらいは、総合的な学習の時間の意義とその起源を理解し、これからの総合的な学習の時間の在り方を問い直すことができること、また、総合的な学習の時間を内実ある学びにしていくための教師のアプローチについて理解し、自分自身の実践を省察することができること…とした。

#### ◆日時

令和3年6月7日(月)9:40-16:10(受付開始 9:10、昼食休憩 12:00-13:00)  
(2021年)

#### ◆開催場所

長野県総合教育センター 第5研修室  
〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

#### ◆対象者

長野県内の充実期及び次世代育成期の教職員 <参加者 29名>

#### ◆講師

畔上 一康 教授(信州大学教職大学院グループ)

#### ◆研修内容・プログラム

9:10～9:35 受付

9:40～10:00 オリエンテーション、自己紹介、情報交換(総合教育センター専門主事 油井 幸樹)

10:00～12:00 講義1「信州『総合』の理念と実践」(講師:畔上 一康 教授)

<昼食休憩>

13:00～14:00 実践発表「総合的な学習の時間を軸とした学校づくり」(長野市立三陽中学校 竹田 真人 教諭)

14:00～15:50 講義2・演習「協働的同伴者としての教師のアプローチ」(講師:畔上 一康 教授)

15:50～16:10 アンケート記入、全体のまとめ、会場整備(油井 幸樹 専門主事)

#### ◆課題・持ち物等

特になし

#### ◆参加費

無料

#### ◆実施主体

共催:

長野県総合教育センター

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター



### 3-3. 学校づくり・学級づくり～チーム学校と新たな学級経営～

#### ◆概要

本研修のねらいは、支援が必要な子どもを擁する学級経営の理解と実践力を推進すること、また、学校教育目標・経営案および学校評価を通して、マネジメントを俯瞰する力を形成すること…とした。

#### ◆日時

- (1) 令和3年8月2日(月) 9:40-16:00 (受付開始 9:10、昼食休憩 12:00-13:00)
- (2) 令和3年11月27日(土) 15:00-16:30

#### ◆開催場所

信州大学教育学部 〒380-8544 長野市西長野6の口

#### ◆対象者

長野県内の充実期及び次世代育成期の教職員 <(1)参加者 72名/(2)参加者 42名>

#### ◆講師

- (1) 青木 一 准教授(信州大学学術研究院教育学系)
- (2) 高橋 巨樹氏(日本教育新聞社)

#### ◆研修内容・プログラム

研修(1)

9:10～9:35 受付

9:40～10:00 オリエンテーション、自己紹介(総合教育センター専門主事 油井 幸樹)

10:00～12:00 講義「特別に支援が必要な子どもをつつむ学級経営」(講師:青木 一 准教授)

<昼食休憩>

13:00～15:30 講義・演習「チーム学級経営と同僚性・協働体制づくり」(講師:青木 一 准教授)

15:30～16:00 振り返りとまとめ(油井 幸樹 専門主事)

研修(2)

15:00～16:00 講演会「記者から見たこれからの学校づくり—私たちは何でもできる—」(講師:高橋 巨樹氏)

16:00～16:30 ディスカッション

#### ◆参加費

無料

#### ◆実施主体

共催:

長野県総合教育センター

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター

### 3-4.へき地・小規模校の教育実践～個別最適化を実現する授業づくり～

#### ◆概要

へき地・小規模校における教育は、かつての「複式解消加配」を配置した学年単位での授業を前提とする学習指導から、異年齢混合の学習活動や自由進度学習などの個に応じた学習活動を取り入れる方向へと重点が移行しつつある。こうした中で、従来は弱点と思われがちだった小規模校・少人数学級の条件を強みに変えて、個別最適な学びを実現させる授業設計のワークショップを通して、自由進度学習を実践するための基本的な考え方を理解するための研修を企画した。

#### ◆日時

令和3年8月19日(木)9:40-16:10(受付開始9:10、昼食休憩12:00-13:00)  
(2021年)

#### ◆開催場所

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、オンライン研修に変更。

#### ◆対象者

長野県内の充実期及び次世代育成期の教職員 <参加者 35名>

#### ◆講師

【講師】信州大学学術研究院教育学系 教授 伏木 久始  
【講師】信州大学学術研究院教育学系 准教授 宮島 新  
【ゲスト講師】東京学芸大学 非常勤講師 佐野 亮子  
【ゲスト講師】元公立学校 教諭 竹内 淑子  
【実践発表】王滝村立王滝小学校 教諭 三沢 敬正

#### ◆研修内容・プログラム

9:10～9:35 受付

9:40～10:00 オリエンテーション、自己紹介(総合教育センター専門主事 油井 幸樹)

10:00～11:00 講義「個別最適な学びをどう考えるか」(講師:伏木 久始 教授、宮島 新 准教授)

11:00～12:00 実践発表「自律的な学びを追究する教育実践」(発表:三沢 敬正 教諭)

<昼食休憩>

13:00～15:50 講義・演習「自由進度学習の授業づくり」(講師:伏木 久始 教授、宮島 新 准教授、ゲスト講師:佐野亮子氏、竹内淑子氏)

16:00～16:10 振り返りとまとめ(油井 幸樹 専門主事)

#### ◆課題・持ち物等

午後の演習で、単元内自由進度学習の学習材作りの実習するため、開発に取り組みたい教科(学年)の教科書を持参していただいた。

◆参加費

無料

◆実施主体

共催:

長野県総合教育センター

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター

<参考資料より>

2020.8.19 信州大学センター・研修講座  
(複数教科 or 複数単元同時進行)  
**単元内自由進捗学習のつくり方**



佐野亮子(東京学芸大学・非常勤)

**単元内自由進捗学習の全体構成**  
(子どもの学習活動過程)

- ① 学年全体 or 学級一斉でガイダンスをうける
- ② 「学習のてびき」を足場に各自で学習計画をたてる
- ③ 計画に基づいて個人追究(一人学び)をすすめる  
(途中で教師のチェックをうける)
- ④ 学年 or 学級でまとめを行う  
(振り返りや学習成果の共有など)
- ⑤ 学級で単元テストなどをうける

個別最適化を実現する授業づくりのために...  
子どもには、どのような学びの個性が存在するか

・学習速度	「5分でやってみましょう」で余る子、足りない子
・習熟度	九九の習得が不十分な子にわり算の筆算は無理
・学習スタイル	聴覚型、視覚型、帰納的、演繹的、具体操作など
・興味・関心	計算より図形が得意、特定事象だと考え易い
・生活経験	きょうだいが多い子は分数概念を持っている?

学習の成立や質に影響を及ぼす個人差は「学習適性」とも呼ばれる

**子どもの学習適性に応じる指導には、  
多様な学習指導方法の実現がもとめられる  
(AT I=適性処遇交互作用)。**

**【演習課題】**  
単元内自由進捗学習の学習支援の方法を考えよう

【目標】 学習材づくりを通して、単元内自由進捗学習への理解を深め、  
子どもの自律的な学びに向けた学習支援の方法を考える。

課題選択方式

学習カード開発	コース設計
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を決める</li> <li>・単元の目標と教科書の指導計画を確認し、必修課題とコース(学習の流れ)を考える</li> <li>・「てこのはたらき」資料を参考に「学習のてびき」をつくる</li> <li>・「学習カード」をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を決める</li> <li>・単元の目標と教科書の指導計画を確認する</li> <li>・特別に配慮したい「あの子」の個性を検討する</li> <li>・「あの子」のための課題や特別コースを考える</li> <li>・「学習のてびき」をつくる</li> </ul>

### 3-5. 小学校外国語指導者養成研修

小学校外国語研修①:デジタル教材を用いた言語活動の工夫

~~小学校外国語研修②:デジタル教材を用いた文字指導の工夫~~

※「小学校外国語研修②:デジタル教材を用いた文字指導の工夫」は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

#### ◆概要

*Crown Jr.* (三省堂)と *Here We Go!* (光村図書)のデジタル教材を用いた指導法の研修会を行った。

#### ◆日時

研修① 2021年11月27日(土)14:00-16:00

~~研修② 2022年10月22日(土)14:00-16:00~~

#### ◆開催場所

信州大学教育学部(研修①②)

〒380-8544 長野市西長野6の口

#### ◆対象者

長野県内の外国語科を担当する小学校教諭及び専科教員。<参加者 12名>

#### ◆講師

酒井英樹 (信州大学学術研究院教育学系・教授)

#### ◆研修内容・プログラム

演習形式で実施

#### ◆課題・持ち物等

特になし

#### ◆参加費

無料

#### ◆実施主体

共催:

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター

### 3-6. マイスター教員研修

#### ◆概要

学校づくりの中核を担う教員が、自身の実践を振り返ると共に、最新の知見を学ぶことを通して、自らの専門性を磨き、授業技術や学級経営等のノウハウなどの経験を若手教員に伝えるための資質・能力を高めるための研修である。本研修の講師は、大学教授等専門的知見を有する研究者及び長野県教育委員会が担い、本研修修了者には修了証を発行した。

#### ◆日時

令和3年8月6日(金) 13時00分から16時10分(受付開始 12時30分)

#### ◆開催場所

長野県総合教育センター 講堂

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

#### ◆対象者

対象は、次世代育成期相当の教員(※1)を中心に、再任用や充実期相当の教員(※2)等とした。自らの希望で受講する講座とした。〈参加者 60名〉

※1 次世代育成期相当教員:経験20年程度以上の教員

※2 充実期相当教員:経験10年から20年程度の教員

#### ◆講師

トータルコーディネーター:青木 一 准教授(信州大学学術研究院教育学系)

講師:三石 雅幸 教諭(箕輪町立箕輪中学校)

#### ◆研修内容・プログラム テーマ「マイスターを生きる」

12:30 受付開始

13:00-13:05 オープニング(信州大学センター副センター長 伏木 久始)

13:05-13:55 ステージ1「教職人生リフレクション」(青木 一 准教授)

14:05-15:05 ステージ2「県内教育実践者による講演」(三石 雅幸 教諭)

15:15-16:05 ステージ3「リ・クリエイション(再創造)」(青木 一 准教授)

16:05-16:10 クロージング(学びの改革支援課参事兼課長 曾根原 好彦)

#### ◆参加費

無料

#### ◆実施主体

共催:

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター

### 3-7. 長野県義務教育校長悉皆研修における「リーダーシップ論」の特別講座

#### ◆日時

令和3年10月7日(木)／10月8日(金)10時30分から12時10分の講演中の30分程。

#### ◆開催場所

長野県総合教育センター 講堂 〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

#### ◆対象者

対象は、長野県内全域の(中核都市の長野市を除く)公立小中学校の校長全員。

<参加者 計522名>

#### ◆講師

伏木久始教授(信州大学学術研究院教育学系)

ゲスト特別講師:Yada Takumi(フィンランド国立教育研究所研究員)

\*長野県内の公立小学校長および中学校長を対象とした悉皆研修の講師を依頼された信州大学センターの伏木の講演の中で、オンライン(ZOOM)でフィンランド国立教育研究所研究員による特別講義を挿入した。内容は、校長業務を想定したリーダーシップ論であり、国際的な視野からみた日本の学校長の役割と今後のミッションについて情報提供していただいた。

#### 【参考資料】\*講演資料の一部を抜粋

Q.フィンランドの小中学校(基礎学校)の校長先生は、一般的にどのようにしてポストを得るか?

A. 採用は教育提供主体(自治体等)が公募を出します。その学校の教職員内から採用されることもありますし、外部から応募があり採用される場合もあります。異動等はないため、終身その学校の校長ということもあります。リーダー(校長)としての適正は採用時に勘案されます。



Q.校長になるための資格要件は?着任時の平均的な年齢は??

A. 民間からの登用はありません。フィンランドの校長になるためには以下の条件を満たす必要があります(Law 986/1998, §2):

1. 勤務校種の教員資格を持っていること
2. 教員経験があること
3. 大学、機関の発行するスクールリーダーシップ証明書を保持していること  
または  
それと同等の学校行政・運営に関する知識を保持していること

▶ 昨今の校長の採用ではほぼ全ての校長が証明書を保持しています。

Q.校長になるための資格要件は?着任時の平均的な年齢は??

A. 学校の自律性が強いので、特に決まった力量というものはありません。

例) スクールリーダーシップ養成プログラム by University of Jyväskylä  
<テーマとコース>

- テーマ 1: 職業的アイデンティティ(identity)  
コース: 個人、コミュニティと相互関係 5 ECTS
- テーマ 2: 職業的専門技能(expertise)  
コース: 教育行政 5 ECTS  
コース: Leading management and administration 5 ECTS  
コース: リーダーシップの基本的な概念と原則 5 ECTS
- Theme 3: 職業的エージェンシー(agency)  
コース: 観察実習 5 ECTS

Q. 学校現場での意思決定はどのように行われているのか?

A. 学校によって異なりますが、基本的に最終決定と責任は校長がつけ負います。近年ではリーダーシップチームを置いて、その中の話し合いの中で決定をしていく形が多いです。



### 3-8. 子どもたちが通いたくなる学校とは

#### ◆概要

日本の学校教育の現状を国際的にみたととき、子どもたちの自己肯定感の低さや、自分の生き方と学校での学びを関連付けて考える子どもの少なさは無視できない課題になっている。また、不登校の子どもや教室内で苦しむ子どもたちに歩み寄って、学校文化を問い直す動きも広がっている。本講座は、様々な立場で学校教育をめぐる問題に向き合い、悩みを抱える子どもたちを支えている方々を講師にお招きし、「子どもたちが通いたくなる学校」を考え合う機会を提供するオンライン連続セミナーである。昨年度に引き続きオンラインで開催したが、教員の勤務時間内に設定した点が今年度の取り組みのポイントであった。つまり、こうした問題に対して意識の高い教職員よりも、あまり意識の高くない関係者を対象に、管理職から声をかけていただいて参加を募りたいと考えて試行実践したが、結果としてはターゲットにした教員の参加は得られず、多忙な中でもこうした問題に関心の高い関係者が多く参加された。働き方改革の中で、意識改革を求めたい関係者に対する研修の設定のあり方を、今後も様々な立場の意見を吸収しながら検討していく必要性を痛感した。

独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
令和3年度研修事業 オンライン連続セミナー

**子どもたちが通いたくなる学校とは**

従来の学校は、伝統と慣習を継承しながら教育活動を展開し、教職員の長時間労働を支えられながら成果を出してきました。しかし、国際的にみたととき、子どもたちの自己肯定感の低さや、自分の生き方と学校での学びを関連付けて考える子どもの少なさも課題になっています。また、不登校の子どもや教室内で苦しむ子どもたちに歩み寄って、学校文化を問い直す動きも広がっています。本講座は、様々な立場で学校教育をめぐる問題に向き合い、悩みを抱える子どもたちを支えている方々を講師にお招きし、「子どもたちが通いたくなる学校」を考え合う機会を提供するオンライン連続セミナーです。

**対象** 幼児教育や初等・中等教育の教職員、教育委員会関係者、教職大学院学生  
●定員に余裕がある場合は一般参加者の受講も可能です。  
●Zoom ミーティングを使用し、オンラインで行います。Zoom や通信環境の設定はご自身でお願いします。  
●原則としてすべての回にご参加ください。

**参加無料**  
事前申込制  
【定員50名】

- 8月27日(金) 15:30~16:40**  
「学校での生きづらさを感じる子どもたちの実態」  
・信州大学教職支援センター教授 庄司 和史氏  
・NPO法人はくまつ理事長・はくろっぐ代表 西森 尚己氏
- 9月24日(金) 15:30~16:40**  
「不登校を経験した子どもからみた学校」  
・生きづらさをつなげるフリーバーバー hanpo 編集長 草深 得雄氏  
・ブルースカイ(登校拒否を考える親と子の会)代表 松田 恵子氏
- 10月22日(金) 15:30~16:40**  
「すべての子どもに豊かな子ども期を」  
・川中島の保健室主宰 白澤 竜子氏  
・長野県次世代サポート課 西村 智美氏
- 11月26日(金) 15:30~16:40**  
「学校内外の子ども・若者の居場所」  
・NPO法人ば〜むばいず理事長 池田 剛氏  
・長野県松本筑摩高校スクールカウンセラー 上間 春江氏
- 12月17日(金) 15:30~16:40**  
「子ども・親・教職員がそれぞれの多様性を認める学校」  
・浜松学院大学付属幼稚園支援センター 中島 祐子氏  
・元公立小学校長 峯村 均氏
- 1月21日(金) 15:30~16:40**  
「学校の先生には見えにくい子どもたち」  
・NPO法人子ども・人権・エンバフメント CAP ながの理事長 矢島 宏美氏  
・チャイルドラインながの事務局長 美谷島 恵子氏
- 2月4日(金) 15:30~16:40**  
「総括とリフレクション：参加者同士の分かち合い」  
「子どもたちのために自分のできることは？」  
・コーディネーター 信州大学教職大学院専攻長 伏木 久始氏

お申し込みはこちらから  
2021年8月20日×切  
Web申込サイト  
<https://bit.ly/3cQmNKK>

主催 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
後援 長野県教育委員会  
お問い合わせ 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
nits@shinshu-u.ac.jp

#### ◆日時

7回の連続セミナーです。※原則としてすべての回にご参加ください。

- ① 8月27日(金) 15:30-16:40
- ② 9月24日(金) 15:30-16:40
- ③ 10月22日(金) 15:30-16:40
- ④ 11月26日(金) 15:30-16:40
- ⑤ 12月17日(金) 15:30-16:40
- ⑥ 1月21日(金) 15:30-16:40
- ⑦ 2月4日(金) 15:30-16:40

#### ◆開催方法

Zoom ミーティングを使用し、オンラインで行います。

※Zoom や通信環境の設定はご自身でお願いします。

#### ◆対象者

小・中学校、高等学校および特別支援学校の教職員、教育委員会関係者、教職大学院学生。

※定員に余裕がある場合は一般参加者の受講も可能です。

◆各年度のテーマ・講師

①8月27日(金)「学校での生きづらさを感じる子どもたちの実態」<参加者 42名>

信州大学教職支援センター 庄司和史氏

NPO 法人はぐまつ理事長・はぐルッポ代表 西森尚己氏

②9月24日(金)「不登校を経験した子どもからみた学校」<参加者 36名>

生きづらさをつなげるフリーペーパーhanpo 編集長 草深将雄氏

ブルースカイ(登校拒否を考える親と子の会)代表 松田恵子氏

③10月22日(金)「すべての子どもに豊かな子ども期を」<参加者 36名>

川中島の保健室主宰 白澤章子氏

長野県次世代サポート課 西村智美氏

④11月26日(金)「学校内外の子ども・若者の居場所」<参加者 28名>

NPO 法人ぱーむばいす理事長 池田剛氏

長野県松本筑摩高校スクールカウンセラー 上間春江氏

⑤12月17日(金)「子ども・親・教職員がそれぞれの多様性を認める学校」<参加者 25名>

浜松学院大学附属幼稚園親支援カウンセラー 中島祐子氏

⑥1月21日(金)「学校の先生には見えにくい子どもたち」<参加者 25名>

NPO 法人子ども・人権・エンパワメント CAP ながの理事長 矢島宏美氏

チャイルドラインながの事務局長 美谷島恵子氏

⑦2月4日(金)「総括とリフレクション:参加者同士の分かち合い~子どもたちのために自分に

できることは?」<参加者 25名>

コーディネーター 信州大学教職大学院専攻長 伏木久始氏

元公立学校長 峯村 均氏

◆課題・持ち物等

特になし

◆参加費

無料

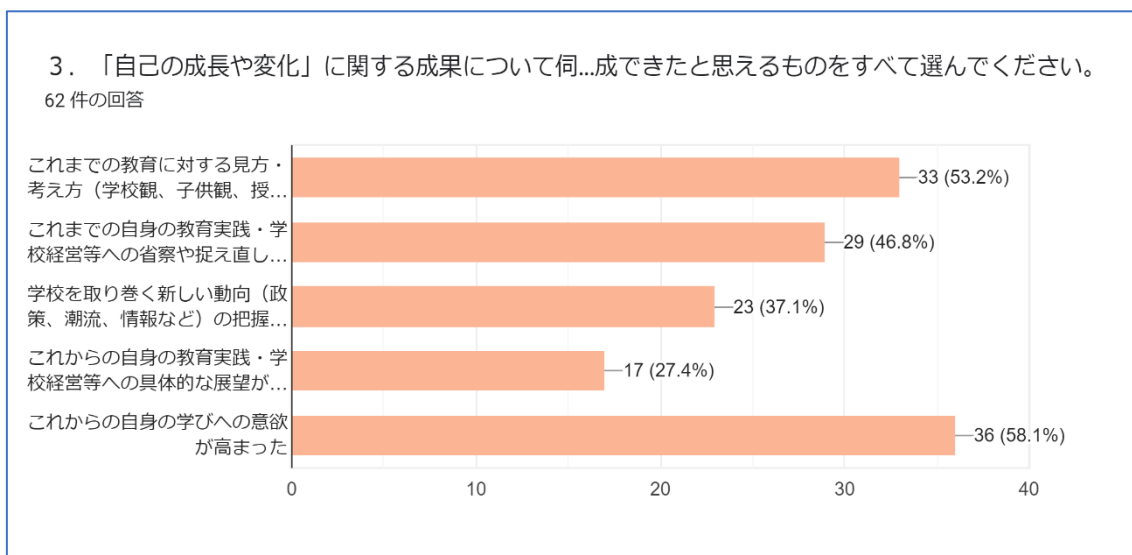
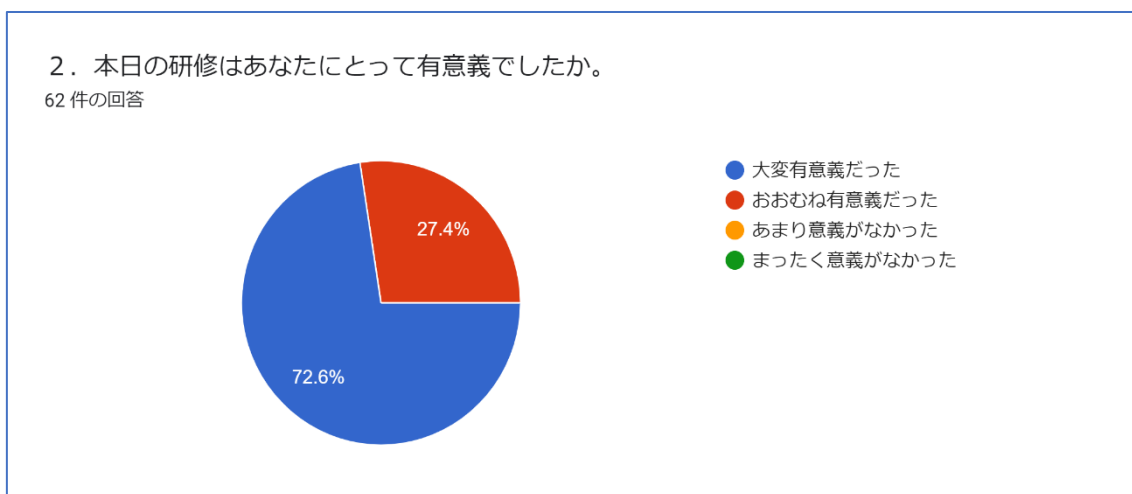
◆実施主体

主催:NITS 信州大学センター

後援:長野県教育委員会



◆参加者アンケートから(最終回の参加者対象の調査)



※3の質問項目と選択肢:

3. 「自己の成長や変化」に関する成果について伺います。それぞれの項目について、概ね 8 割(及第点)以上達成できたと思えるものをすべて選んでください。

- これまでの教育に対する見方・考え方(学校観、子供観、授業観など)の捉え直し
- これまでの自身の教育実践・学校経営等への省察や捉え直し
- 学校を取り巻く新しい動向(政策、潮流、情報など)の把握
- これからの自身の教育実践・学校経営等への具体的な展望が開けた
- これからの自身の学びへの意欲が高まった
- その他(自由記述)

### 3-9. 教室の中での異文化理解～違いを認め尊重しあう社会を目指して

#### ◆概要

教育界や産業界の国際化が進む中で、外国籍児童・生徒も増加している。異文化摩擦を乗り越え、多様性を受容し、文化や生活習慣等の違いを認め合う中で、共に生活し学び合うマインドを高めるには、どのような発想が求められるのかを考える講座として今年度初めて設定した。

本講座では、教室の中での異文化理解を推進していこうとする先生方のために、2人の専門家を講師にお迎えし、学校現場での実践に焦点を当て、参加者の悩みや問題意識に寄り添いながら、アットホームな雰囲気の中で異文化理解を考え合う機会を提供した。

#### ◆日時

2021年8月10日(火)13:30-16:30(13:00受付開始)

#### ◆開催場所

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、オンライン研修に変更実施。

#### ◆対象者

小・中学校、高等学校および特別支援学校の教職員、教育委員会関係者 <参加者 12名>

#### ◆講師

徳井厚子(信州大学教育学部教授)

吉野康子(順天堂大学国際教養学部准教授)

#### ◆研修内容・プログラム

13:00 受付開始

13:30-13:40 プロローグ:主旨説明

13:40-14:40 第1部:外国籍児童教育の視点から～講義&演習～(徳井厚子)

<休憩 10分>

14:50-15:50 第2部:英語教育の視点から～講義&演習～(吉野康子)

<休憩 10分>

16:00-16:30 エピローグ:ふりかえり

#### ◆課題・持ち物等

特になし

#### ◆参加費

無料

#### ◆実施主体

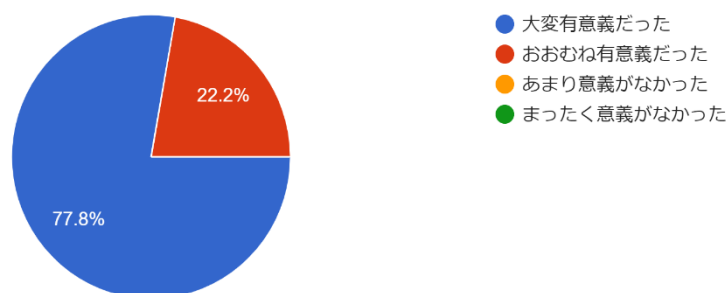
主催:NITS 信州大学センター

後援:長野県教育委員会

## ◆参加者アンケートから

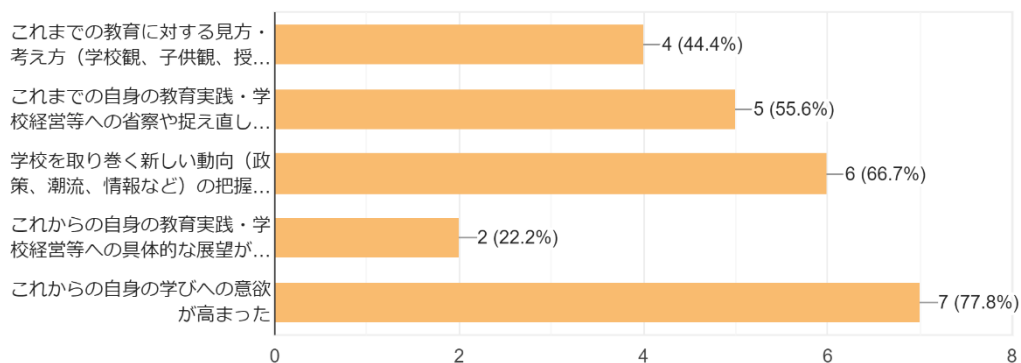
1. 本日の研修はあなたにとって有意義でしたか。

9件の回答



2. 「自己の成長や変化」に関する成果について伺...成できたと思えるものをすべて選んでください。

9件の回答



※3の質問項目と選択肢:

3. 「自己の成長や変化」に関する成果について伺います。それぞれの項目について、概ね 8 割 (及第点) 以上達成できたと思えるものをすべて選んでください。

- これまでの教育に対する見方・考え方 (学校観、子供観、授業観など) の捉え直し
- これまでの自身の教育実践・学校経営等への省察や捉え直し
- 学校を取り巻く新しい動向 (政策、潮流、情報など) の把握
- これからの自身の教育実践・学校経営等への具体的な展望が開けた
- これからの自身の学びへの意欲が高まった
- その他 (自由記述)

### 3-10. コミュニティ・スクール地域コーディネーター養成講座

#### ◆概要

地域に開かれた教育課程の編成を求められる学校と、学校との連携を踏まえた活性化が期待される地域とを繋ぐキーマンとしてのコーディネーターを養成する研修である。

#### ◆日時

1日目:2021年12月10日(金)10:00~19:00(9:30 受付開始)

2日目:2021年12月11日(土)9:00~11:30(8:30 受付開始)

#### ◆開催場所

1日目:大町市立美麻小中学校内

2日目:ぽかぽかランド美麻(大町市美麻青具16784)

#### ◆対象者

小中高校および特別支援学校の教職員、教育委員会の指導主事、地域コーディネーターの役割を担う行政の担当者、地域おこし協力隊員、一般の方 <定員30名のところ36名参加>

#### ◆講師

前川 浩一氏(文科省総合教育政策局 CS マイスター・美麻小中学校地域学校協働コーディネーター)

塩原 雅由氏(大町市教育委員会・学校教育指導主事)

伴 美佐子氏(長野県教育委員会信州型 CS アドバイザー、上田市立北小学校・地域コーディネーター)

#### ◆研修内容・プログラム

##### 【1日目】

午前 美麻小中学校の教育課程の説明(副校長)

コミュニティ・スクールについての講義

・学校経営としてのコミュニティ・スクールの活用

・コーディネーターの役割

午後 総合的な学習の時間「夢の時間」参観

夕方 学校運営協議会の傍聴



##### 【2日目】

午前 CSコーディネーター養成のための講義+ワークショップ

#### ◆課題・持ち物等

\*1日目の昼食をご持参ください。

#### ◆参加費 無料



◆実施主体

主催：(独)教職員支援機構(NITS) 信州大学センター

共催：長野県教育委員会



独立行政法人教職員支援機構  
信州大学センター

令和3年度研修事業

## コミュニティ・スクール 地域コーディネーター養成講座

地域に開かれた教育課程の編成を求められる学校と、  
学校との連携を踏まえた活性化が期待される地域とを繋ぐキーマンとしての  
コーディネーターを養成する研修です。

2021年 12月10日(金)～11日(土)

場所 ▶▶ 大町市立美麻小中学校  
ぼかぼかランド美麻

対象 ▶▶ 小中高校および特別支援学校の教職員や教育  
委員会の指導主事、地域コーディネーターの役  
割を担う行政の担当者、地域おこし協力隊員、  
一般の方<定員 30名>

参加費無料

Web申込サイト

<https://bit.ly/3v7G6r7>  
2021年12月3日×切



講師

前川 浩一 氏 (文科省総合教育政策局CSマスター・美麻小中学校地域学校協働コーディネーター)  
塩原 雅由 氏 (大町市教育委員会・学校教育指導主事)  
伴 美佐子 氏 (長野県教育委員会信州型CSアドバイザー・上田市立北小学校・地域コーディネーター)

1日目

2021年 12月10日(金) 10:00～19:00 (9:30受付開始)

@大町市立美麻小中学校内

<午前> 美麻小中学校およびコミュニティ・スクール(CS)についての講義  
<午後> 総合的な学習の時間「夢の時間」参観・意見交換  
<夕方> 学校運営協議会の傍聴

2日目

2021年 12月11日(土) 9:00～11:30 (8:30受付開始)

@ぼかぼかランド美麻

<午前> CSコーディネーター養成のための講義とワークショップ

※宿泊をご希望される方は各自でご手配をお願いします。

※新型コロナウイルス感染状況により、研修の内容・方法が変更になる可能性があります。

主催 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
共催 長野県教育委員会

お問い合わせ  
独立行政法人教職員支援機構  
信州大学センター  
✉ [nits@shinshu-u.ac.jp](mailto:nits@shinshu-u.ac.jp)

### 3-11. 公開セミナー「自由学校の設計-30年間の実践から見えてきたこと」

#### ◆概要

「学校法人きのくに子どもの村学園」。この長い名前の学校は1992年、和歌山県の北東の端、橋本市の山中に開校した。戦後はじめて学校法人として認可された自由な学校であり、子どもたちの多くが寮生活を送りながら学んでいる。

この学校の30年間の軌跡と現代の学校教育に投げかけるメッセージを、堀学園長とともに考え合う研修会とした。

#### ◆日時

2021年11月13日(土)13:00~16:00

#### ◆開催方法

オンライン開催(ZOOM)

※教職大学院の学生は対面授業での参加となる予定。

#### ◆対象者

信州大学教職大学院の現役学生や修了生、教育関係者、一般の方 <参加者 187名>

#### ◆講師

堀 真一郎(きのくに子どもの村学園長、元大阪市立大学教授)

竹内 延彦(池田町教育長)

丸山 裕子(きのくに子どもの村副学園長)

加藤 博(南アルプス子どもの村中学校長)

#### ◆プログラム

##### 第1部【講演会】

13:00-14:00 特別講演「子どもの村学園の教育」(堀 真一郎 学園長)

14:00-14:20 教職大学院生との質疑応答

##### 第2部【対話の会】

コーディネーター 伏木 久始(信州大学教職大学院専攻長)

14:30-15:20 ディスカッション

(堀 真一郎学園長、竹内 延彦教育長、丸山 裕子副学園長、加藤 博校長)

15:20-16:00 参加者誰でもトーク

#### ◆参加費

無料

第5回 信州大学教職大学院公開セミナー  
**自由学校の設計** 30年間の実践から  
見えてきたこと  
— オンライン開催 (ZOOM) —  
2021年 11月13日(土)  
13:00~16:00  
参加無料  
先着200名様

第1部【講演会】  
13:00-14:00 特別講演「子どもの村学園の教育」  
堀 真一郎 (きのくに子どもの村学園長  
元大阪市立大学教授)  
14:00-14:20 教職大学院生との質疑応答

第2部【対話の会】  
コーディネーター 伏木 久始 (信州大学教職大学院専攻長)  
14:30-15:20 ディスカッション  
堀 真一郎 (きのくに子どもの村学園長)  
竹内 延彦 (池田町教育長)  
丸山 裕子 (きのくに子どもの村副学園長)  
加藤 博 (南アルプス子どもの村中学校長)  
15:20-16:00 参加者誰でもトーク

主催 信州大学教職大学院  
共催 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
【お問い合わせ】 (独)教職員支援機構 信州大学センター nits@shinshu-u.ac.jp https://bit.ly/3CBhbyy

メイン講師  
堀 真一郎さん

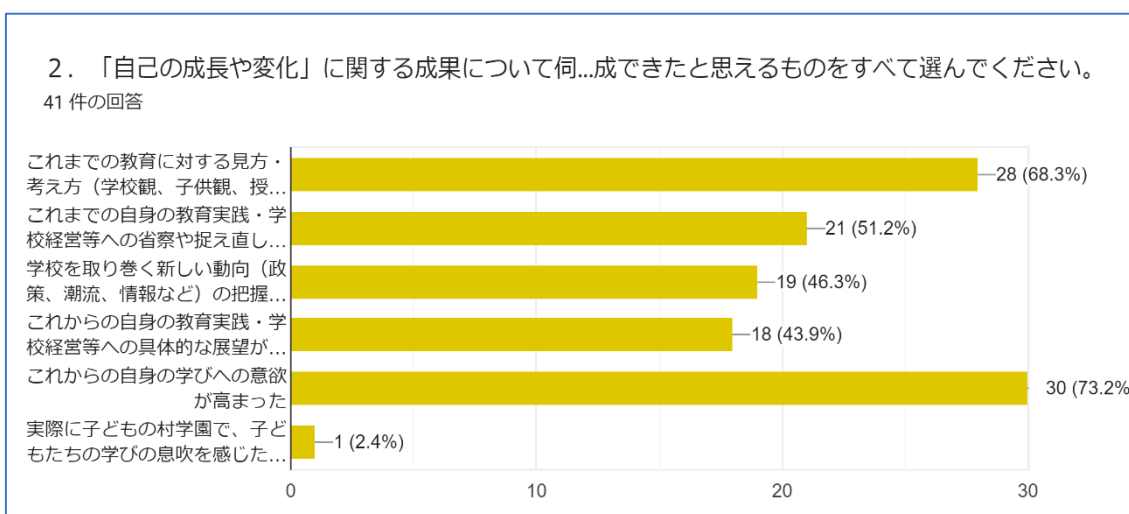
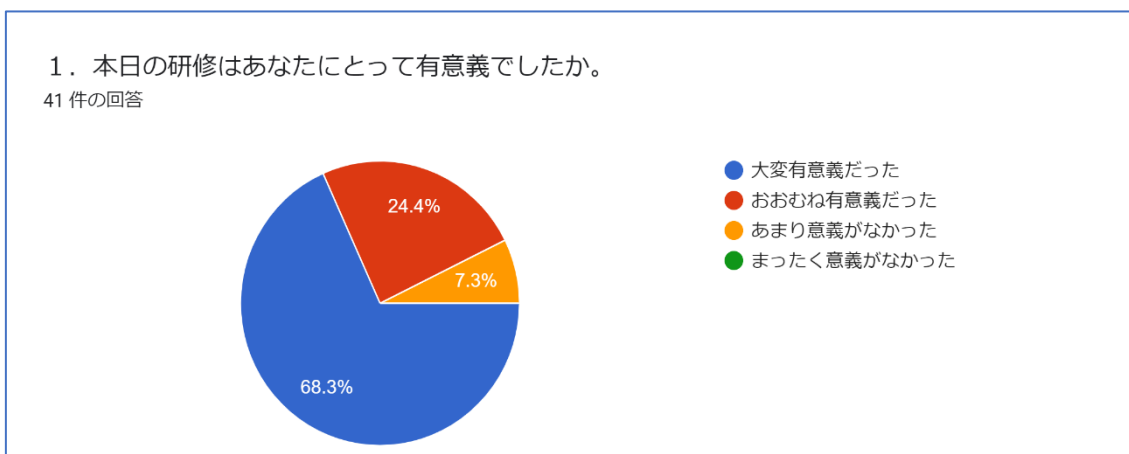
お申し込みは  
こちらから▼  
(11/10締切)  
Web申込サイト

### ◆実施主体

主催: 信州大学教職大学院

共催: 独立行政法人教職員支援機構 (NITS) 信州大学センター

### ◆参加者アンケートから



### ※3の質問項目と選択肢:

3. 「自己の成長や変化」に関する成果について伺います。それぞれの項目について、概ね 8 割 (及第点) 以上達成できたと思えるものをすべて選んでください。

- これまでの教育に対する見方・考え方 (学校観、子供観、授業観など) の捉え直し
- これまでの自身の教育実践・学校経営等への省察や捉え直し
- 学校を取り巻く新しい動向 (政策、潮流、情報など) の把握
- これからの自身の教育実践・学校経営等への具体的な展望が開けた
- これからの自身の学びへの意欲が高まった
- その他 (自由記述)

### 3-12. 学校フィールドワーク実地研修

(1) 12月15日(水)先発組の参観(8名)

#### ◆概要

南アルプス子どもの村学園の特色について学校参観を通して理解するとともに、それを実現させている教育課程の概要を理解する。二日間の施設研修とし、初日は堀学園長との対談をセットし、2日目は加藤校長ほか先生方の参加をいただき、参観を通しての感想を含めて質疑応答の時間を確保して、子どもの村学園の教育実践についての理解を深める。

#### ◆日時

2021年12月15日(水) 13:00~16:00

2021年12月16日(木) 10:00~16:00

#### ◆開催方法

学校参観(現地滞在)を実施する。

#### ◆対象者

現職教員、信州大学教職大学院の現役学生や修了生 <参加者 14名>

#### ◆講師

堀 真一郎(きのくに子どもの村学園長、元大阪市立大学教授)  
加藤 博(南アルプス子どもの村中学校長)

ほか 南アルプス子どもの村小学校・中学校の教職員



#### ◆プログラム

【第1日】12月15日

14:00 授業参観

15:00 子どもの集会の参観

16:00 堀学園長を囲んでの対話の会

【第2日】12月16日

10:00 オリエンテーション

10:20 プロジェクトの参観

12:00 昼食休憩

13:00 プロジェクトの参観

16:00 退校



#### ◆参加費

無料



### 3-13. 令和3年度信州大学センター公開フォーラム

～南信州の教員研修の活性化を考えるフォーラム～

独立行政法人教職員支援機構  
信州大学センター

信州大学教職大学院サテライトキャンパス開校記念行事

## 南信州の教員研修の活性化を考えるフォーラム

信州大学教職大学院は、2022年3月から飯田市にサテライトキャンパスを開校します。これまで、長野市内の教育学部キャンパスが唯一の拠点だったため、教員研修に関わる企画には北信地域の教育関係者が多く集まるという実情がありました。南信地域にサテライトキャンパスを開校させることで、全県の教員研修の質向上に寄与することを目指します。サテライトキャンパス開校記念行事となる本フォーラムでは、南信州の教員研修の活性化について皆さんと一緒に考えます。

**2022年 3月13日(日)**  
**13:30～15:30(13:00受付開始)**  
オンライン開催 (ZOOM)

※信州大学教職大学院サテライトキャンパス(飯田市立飯田東中学校内)からの中継があります。

**参加無料** | <https://bit.ly/3JfYdBO>  
2022年3月6日〆切

どなたでもご参加いただけます。  
特に長野県南信地域の教育関係者のご参加をお待ちしております。

**講師**

宮崎 樹夫 (信州大学副学長・教育学部長 NITS信州大学センター長)  
曾根原好彦 (長野県教育委員会・学びの改革支援課参事兼課長)  
代田 昭久 (飯田市教育長)  
山浦 貞一 (下伊那教育会全郡研究中心講師・元下伊那校長会副会長)

★コーディネーター 伏木 久始 (信州大学教職大学院専攻長 長野県教育委員教育長職務代理者)

**プログラム**

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会
- 4名の講師による話題提供
- 14:35 休憩 (15分)
- 14:50 ディスカッション
- 15:30 閉会

主催 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
後援 長野県教育委員会・飯田市教育委員会

お問い合わせ 独立行政法人教職員支援機構 信州大学センター  
nits@shinshu-u.ac.jp

#### ◆概要

信州大学教職大学院は、2022年3月に飯田市にサテライトキャンパスを開校した。これまで、長野市内の教育学部キャンパスが唯一の拠点だったため、教員研修に関わる企画には北信地域の教育関係者が多く集まるという実情があったが、南信地域にサテライトキャンパスを開校させることで、全県の教員研修の質向上に寄与することを目指す。サテライトキャンパス開校記念行事となる本フォーラムは、南信州の教員研修の活性化について、参加者と一緒を考え合うフォーラムとして設定した。

#### ◆日時

2022年3月13日(日)  
13:30～15:30  
(13:00～ZOOM 受付)

#### ◆開催方法

オンライン (ZOOM) 開催  
中継: 信州大学教職大学院サテライトキャンパス(飯田市立飯田東中学校内の空き教室再利用)

#### ◆対象者

学生・一般、誰でも参加可  
<参加者 56名>



#### ◆講師

- ①宮崎 樹夫氏 (信州大学副学長・教育学部長/NITS 信州大学センター長)
  - ②曾根原 好彦氏 (長野県教育委員会・学びの改革支援課参事兼課長)
  - ③代田 昭久氏 (飯田市教育長)
  - ④山浦 貞一氏 (下伊那教育会全郡研究中心講師・元下伊那校長会副会長)
- ★コーディネーター 伏木 久始氏 (信州大学センター副センター長)

◆プログラム

13:00 受付開始

13:30 開会 4名の講師による話題提供

14:35 休憩(15分)

14:50 ディスカッション

15:30 閉会

◆課題・持ち物等

特になし

◆参加費

無料

◆実施主体

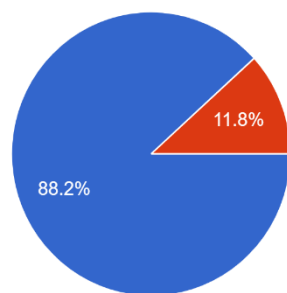
主催:独立行政法人教職員支援機構(NITS)信州大学センター

後援:長野県教育委員会、飯田市教育委員会

◆参加者アンケートから

1. 今回のフォーラムに参加してみてもいかがでしたか？

17件の回答



- 大変有意義だった
- おおむね有意義だった
- あまり意義がなかった
- まったく意義がなかった

#### 4. おわりに

独立行政法人教職員支援機構の地域センターの1つとして、令和2年度に開設された信州大学センターは、コロナ禍での感染防止ガイドラインに従う条件下で、対面型の研修講座やフィールドワークが予定通りには実施できない状況であったものの、同期型オンライン講座を開設するなどの努力の結果、参加者にとっての満足度が高い研修事業を提供できた。

また、今年度末の3月に新規開設したサテライトキャンパスは、信州大学教職大学院のサテライトキャンパスを兼ねることになるが、今後の信州大学センターの事業を本格的に運営していく上で、きわめて重要度の高い拠点として位置づけている。

なお、信州大学センターの飯田サテライトは、飯田市立東中学校の空き教室をお借りして斬新にレイアウトを改装して設置した。教員の研究室は現職教員の個人相談に応じる面談室を兼ねており、その隣の演習室(元教室)は多様な学びを演出できるオープンな空間としてリニューアルした。この部屋は、教職大学院の授業を遠隔で受講できる部屋になると同時に、南信州エリアを中心とする現職教員対象の研修内容の高度化を具体的に研究開発していく拠点にしていくことが期待されている。

やがては、与えられる研修ではなく、自ら企画立案してチャレンジする研修講座が、このサテライトキャンパスから生まれてくることを願いつつ、令和3年度事業の報告を以上のようにとりまとめた。その成果と課題をあらためて見きわめながら、令和4年度事業に発展的に活かしていきたい。